

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社
 コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 宮下 泰知

TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	19,329	△2.5	734	△27.0	786	△26.0	496	△42.1
27年3月期第1四半期	19,826	13.2	1,007	20.2	1,062	3.1	857	36.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 129百万円 (△84.3%) 27年3月期第1四半期 827百万円 (△47.3%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	24	48	24	32
27年3月期第1四半期	42	57	42	51

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	85,246	54.0	47,698	54.0	47,698	54.0
27年3月期	85,245	54.3	47,845	54.3	47,845	54.3

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 46,075百万円 27年3月期 46,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	41,000	3.6	1,700	10.1	1,800	9.1	1,200	0.4	59.15
通期	85,000	4.0	3,750	26.6	4,000	16.6	2,400	7.9	118.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	20,321,300 株	27年3月期	20,301,100 株
28年3月期1Q	12,401 株	27年3月期	12,281 株
28年3月期1Q	20,294,699 株	27年3月期1Q	20,138,319 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、中国経済が減速するなか、米国景気が拡大基調を維持していることや、欧州景気が回復基調にありましたが、全体としては緩やかな成長に留まりました。国内経済は、個人消費が消費税増税後の落ち込みから持ち直しの兆しがみられ、緩やかな回復基調が持続しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。しかしながら、欧州における一時的減産や中国経済の減速などによる需要低迷により、減収減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は193億29百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は7億34百万円（同27.0%減）、経常利益は7億86百万円（同26.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億96百万円（同42.1%減）となりました。

なお、平成27年6月12日に山口精研工業株式会社の全株式取得により完全子会社化し、電子材料分野の更なる成長を図ってまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は前年を下回りましたが、アジア地域による拡販が寄与し、前年並みとなりました。

その結果、売上高は49億34百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は2億73百万円（同0.3%増）となりました。

<化成品事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が増加しております。このような環境のもと、当事業におきましては、粘着・接着剤用樹脂については欧州における一時的減産や、中国での需要低迷もあり、売上高は113億60百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は、3億85百万円（同33.6%減）となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンが需要を牽引しました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂等が回復傾向にあり、売上高は29億54百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント損失は8百万円（前年同期はセグメント損失46百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が12億73百万円減少した一方、有形固定資産が3億53百万円、無形固定資産が5億94百万円増加し、前連結会計年度末並みの852億46百万円となりました。

負債は、短期借入金が22億43百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が12億18百万円、長期借入金が1億79百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加し、375億47百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等が増加したものの、為替換算調整勘定等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少し、476億98百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成27年5月7日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ89百万円減少しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,228	8,702
受取手形及び売掛金	29,649	28,376
有価証券	-	232
商品及び製品	8,440	7,960
仕掛品	1,070	1,382
原材料及び貯蔵品	7,476	7,220
繰延税金資産	549	352
その他	745	985
貸倒引当金	△142	△146
流動資産合計	56,018	55,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,793	7,944
機械装置及び運搬具（純額）	7,352	6,979
土地	4,797	5,163
建設仮勘定	553	680
その他（純額）	331	413
有形固定資産合計	20,827	21,180
無形固定資産		
のれん	71	690
その他	500	475
無形固定資産合計	571	1,165
投資その他の資産		
投資有価証券	7,125	7,062
繰延税金資産	187	216
その他	530	568
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	7,828	7,832
固定資産合計	29,227	30,178
資産合計	85,245	85,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,807	10,589
短期借入金	9,592	11,836
未払法人税等	451	394
未払消費税等	243	146
繰延税金負債	70	68
賞与引当金	1,035	517
役員賞与引当金	46	10
修繕引当金	94	12
設備関係支払手形	134	144
その他	3,451	3,559
流動負債合計	26,926	27,278
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,683	2,503
繰延税金負債	1,393	1,446
退職給付に係る負債	813	742
資産除去債務	90	90
その他	493	486
固定負債合計	10,474	10,269
負債合計	37,400	37,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,192	3,201
資本剰余金	3,414	3,422
利益剰余金	34,298	34,515
自己株式	△11	△11
株主資本合計	40,893	41,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,572	2,622
為替換算調整勘定	2,620	2,162
退職給付に係る調整累計額	165	162
その他の包括利益累計額合計	5,358	4,947
新株予約権	23	22
非支配株主持分	1,570	1,600
純資産合計	47,845	47,698
負債純資産合計	85,245	85,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	19,826	19,329
売上原価	15,975	15,614
売上総利益	3,851	3,715
販売費及び一般管理費	2,844	2,980
営業利益	1,007	734
営業外収益		
受取利息	1	8
受取配当金	51	57
不動産賃貸料	30	30
為替差益	-	51
その他	94	92
営業外収益合計	178	240
営業外費用		
支払利息	62	59
持分法による投資損失	8	26
為替差損	41	-
支払手数料	-	89
その他	10	12
営業外費用合計	122	188
経常利益	1,062	786
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	-	126
受取補償金	※ 445	-
特別利益合計	445	126
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,507	913
法人税、住民税及び事業税	332	171
法人税等調整額	134	218
法人税等合計	466	389
四半期純利益	1,040	523
非支配株主に帰属する四半期純利益	183	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	857	496

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,040	523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286	49
為替換算調整勘定	△484	△417
退職給付に係る調整額	△6	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△23
その他の包括利益合計	△212	△394
四半期包括利益	827	129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	695	94
非支配株主に係る四半期包括利益	131	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

連結子会社である厦門荒川化学工業有限公司において、都市計画の変更にともなう事業拠点の移転要請により、補償金を受領しております。受領金額より移管費用や固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,942	11,939	2,873	19,754	72	19,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	25	—	25	5	30
計	4,942	11,964	2,873	19,779	77	19,857
セグメント利益又は損失(△)	272	580	△46	807	5	812

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	807
「その他」の区分の利益	5
全社費用の配賦差額(注)1	285
営業外損益(注)2	△90
四半期連結損益計算書の営業利益	1,007

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,934	11,360	2,954	19,250	79	19,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	22	—	22	7	30
計	4,934	11,383	2,954	19,273	86	19,360
セグメント利益又は損失(△)	273	385	△8	651	6	657

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	651
「その他」の区分の利益	6
全社費用の配賦差額(注)1	86
営業外損益(注)2	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	734

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電子材料」セグメントにおいて、山口精研工業株式会社の全ての株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において639百万円であります。なお、のれんは暫定的に算定された金額であります。